



2024年3月26日

各位

会社名 カーリットホールディングス株式会社

(URL : <https://www.carlithd.co.jp>)

代表者名 代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文

(コード番号 4275 東証プライム)

問合せ先 広報・サステナビリティ推進室長 島田 拓

(TEL : 03-6893-7060)

中期経営計画「Challenge2024」のローリングに関するお知らせ

当社グループは2022年6月に中期経営計画「Challenge2024」、2023年5月に中期経営計画「Challenge2024 ローリングプラン 2023」を策定し推進していましたが、本日の取締役会決議を以て新たに2025年3月期における中期経営計画「Challenge2024 グローアッププラン 2024」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 中期経営計画ローリングの背景

当社グループは「持続可能な社会に貢献するために「化学」と「技術」の力を合わせ、人びとの幸せな暮らしを支えたい」を2030年のありたい姿と掲げ、その達成に向け2022年から2024年までの3か年の中期経営計画を策定し「5つの戦略」をはじめとした各種施策に取り組んでまいりました。このたび、中期経営計画「Challenge2024」の達成ならびに、経営環境の変化に柔軟に対応することを目的に計画をローリング方式にて見直しました。特に、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の高度化を狙い、計画をアップデートいたします。

2. 基本方針

中期経営計画「Challenge2024」の基本方針に大きな変更はございません。新たに資本収益性と市場評価に関する分析を行い、中期経営計画最終年度における具体的な施策を追加いたしました。

3. 施策

- ・政策保有株式の縮減方針
- ・設備投資計画・成長投資の進捗
- ・研究開発の推進による成長期待醸成
- ・業績連動型の安定配当

4. 数値目標

2025年3月期の数値目標につきましては、2023年9月11日にお知らせしている「連結業績予想の修正に関するお知らせ」を踏まえ、営業利益のみ計画内にお示しいたしました。なお、詳細な連結業績予想については、2024年5月15日(予定)の2024年3月期決算短信にてお知らせする予定です。

以上

中期経営計画 Challenge 2024

グローバルアッププラン 2024

2024年3月26日
カーリットホールディングス株式会社

経営環境の振り返り：環境変化

◆ 2023年～2024年における環境変化

社会・経済環境

- ✓ ウクライナ侵攻長期化、中東紛争過激化による、世界情勢の不安定化
- ✓ 物流業界 2024年問題による運送コストの変動
- ✓ 電子材料や半導体材料需要の低迷が継続

上場企業に対する要請

- ✓ PBR向上を目的とした、資本収益性や市場評価の改善要請
→ 2023年3月以降、更なる進展が期待されている

◆ 2023年～2024年における当社の状況

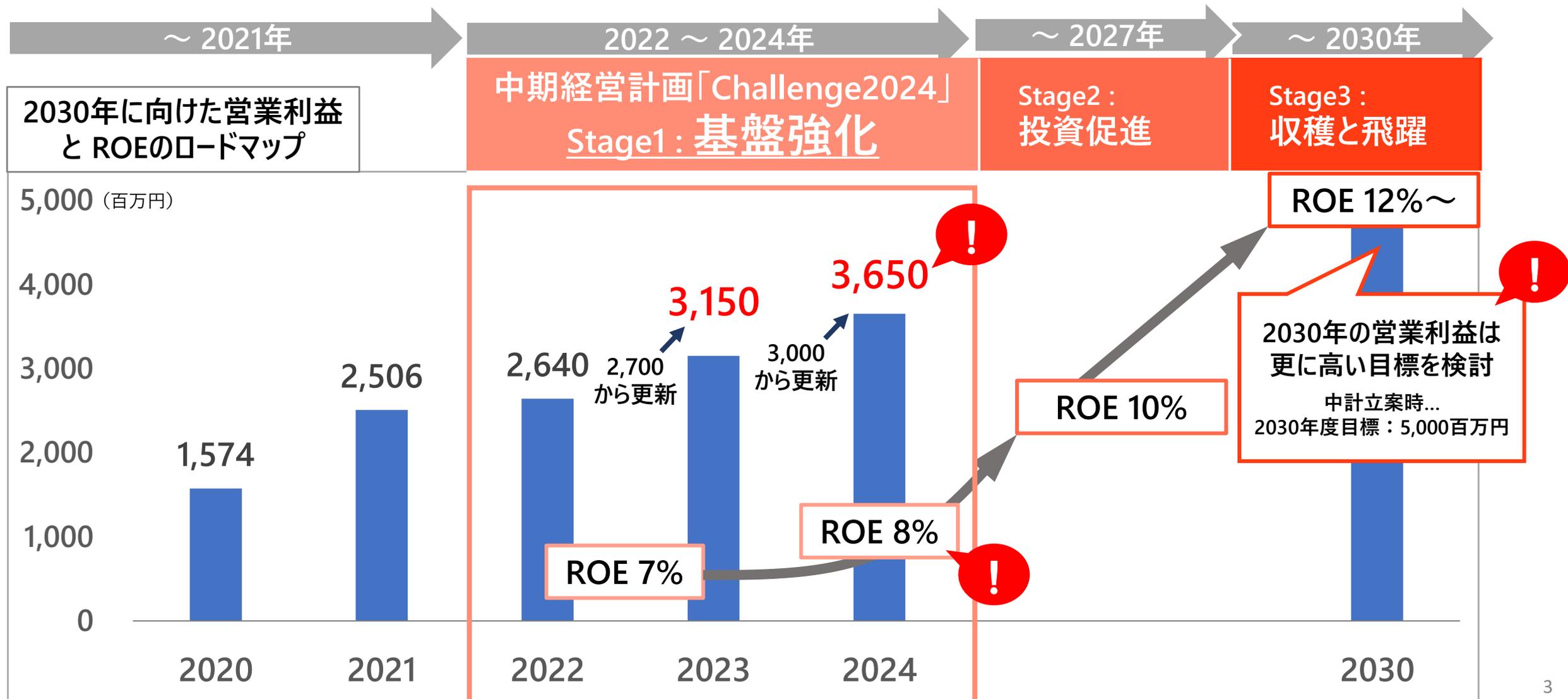
- 過去最高益見込。中計「Challenge2024」目標営業利益を前倒して達成
- 中計「ローリングプラン2023」にて掲げた資本収益性の改善は道半ば



▶ 更なる成長に向け、「グローアッププラン2024」を策定

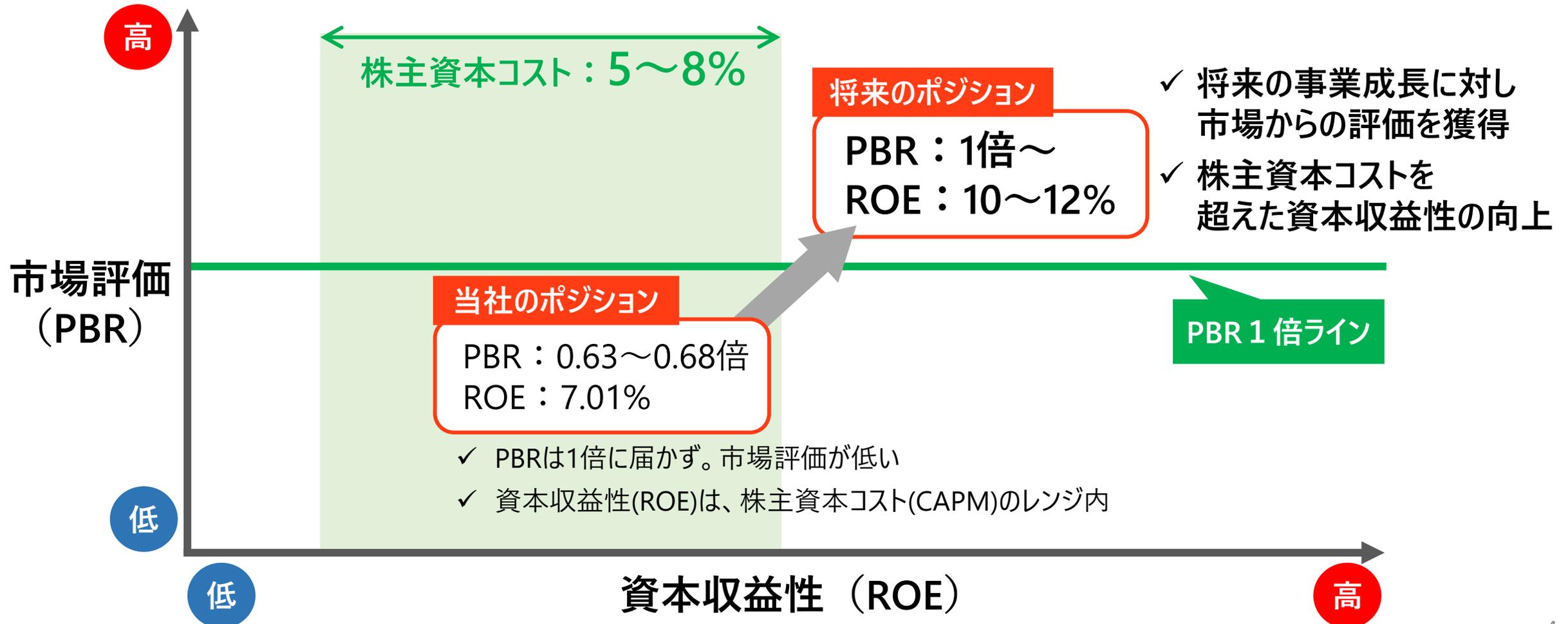
2030年に向けたロードマップ

◆ ロードマップにおける営業利益目標値を更新



資本収益性と市場評価に関する分析

- ◆ 資本収益性と市場評価に関するマトリクスにおいて、当社のポジションを確認
- ◆ 中期経営計画「Challenge2024」、「ローリングプラン2023」に加える改善策を検討

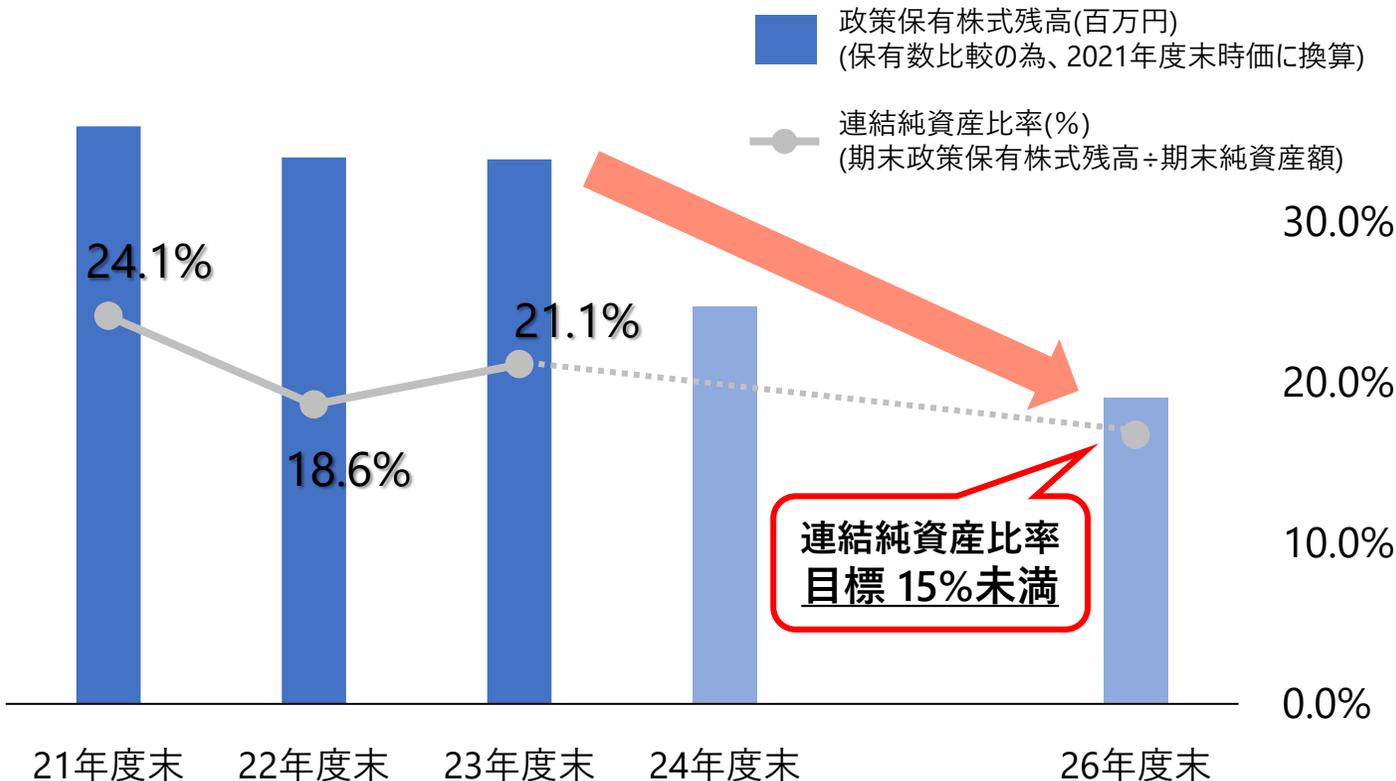


政策保有株式の縮減方針



(中計「Challenge2024 ロールングプラン2023」より抜粋)

- ◆ グループの更なる成長をファイナンス面から実現する、バランスシートを意識した経営
- ◆ 政策保有株の縮減を進めていき、資産のスリム化を推進する



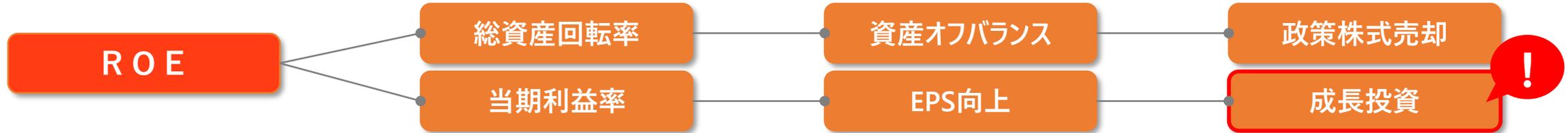
外部環境

- ✓ 直近の株高を背景に、連結純資産の比率が上昇傾向

縮減方針

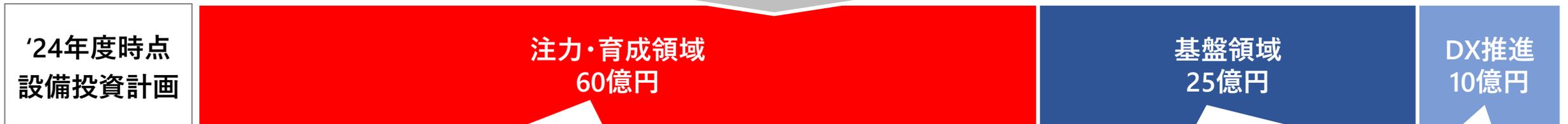
- ✓ 資本コストなどの指標を総合的かつ中長期的に勘案し、政策保有株の縮減を継続的に進める
- ✓ 26年度末 連結純資産比率 15%未満を目標に縮減を推進

設備投資計画・成長投資の進捗



(中計「Challenge2024 ロールングプラン2023」より抜粋)

- ◆ 収益性の高い成長投資案件を優先し、スピード感をもって推進
- ◆ 基盤領域（低ボラティリティであり安定収益が見込まれる）事業への投資も着実に取り組む



✓ 注力・育成領域の投資案件は
高い収益性を期待

- 過塩素酸アンモニウム事業：25億円
- 受託電池試験事業：20億円
- シリコンウェーハ事業：10億円
- 研究開発：5億円

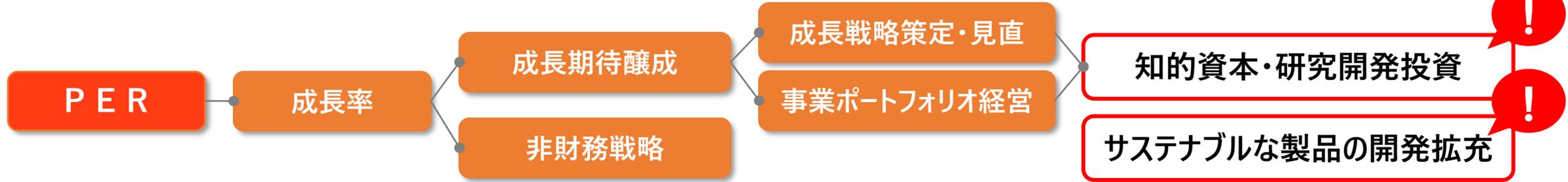
✓ 基盤領域の投資案件は
収益性が十分であることに加え、

- 爆薬・保安炎筒事業：10億円
- 省エネ・再生可能エネルギー関連：5億円
- その他 老朽化更新・効率向上投資：10億円

基幹システム
最新化等

安定収益や省エネ効果等のESG視点も重視

研究開発の推進による成長期待醸成



(中計「Challenge2024 ローリングプラン2023」より抜粋)

- ◆ 研究開発における「2030年のあるべき姿」
 化学品・半導体分野に特化し、新製品を生み出し、新たな事業を確立する

中期経営計画最終年度の取り組み

1. 電極事業の新たな挑戦

新規蓄電デバイス材料、水素発生電極(NEDO共同研究)、CO₂回収

2. 電子材料事業の新たな挑戦

イオン性導電材、高分子導電材

3. 光・半導体部門の研究開発拡充

高付加価値ウェーハ材料の開発、光学材料の研究

ライフサイエンス

実現する未来の姿

カーボンニュートラル実現に向け、
クリーンエネルギーの更なる普及

エレクトロニクス

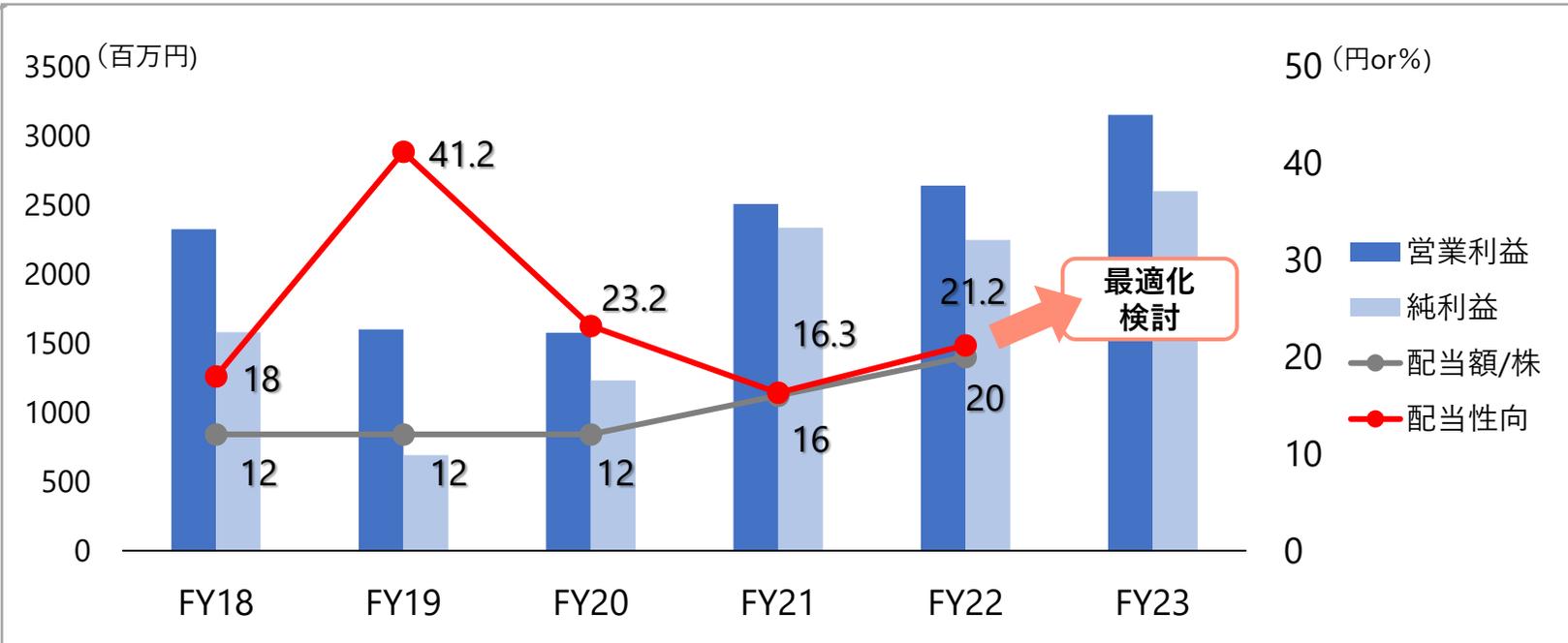
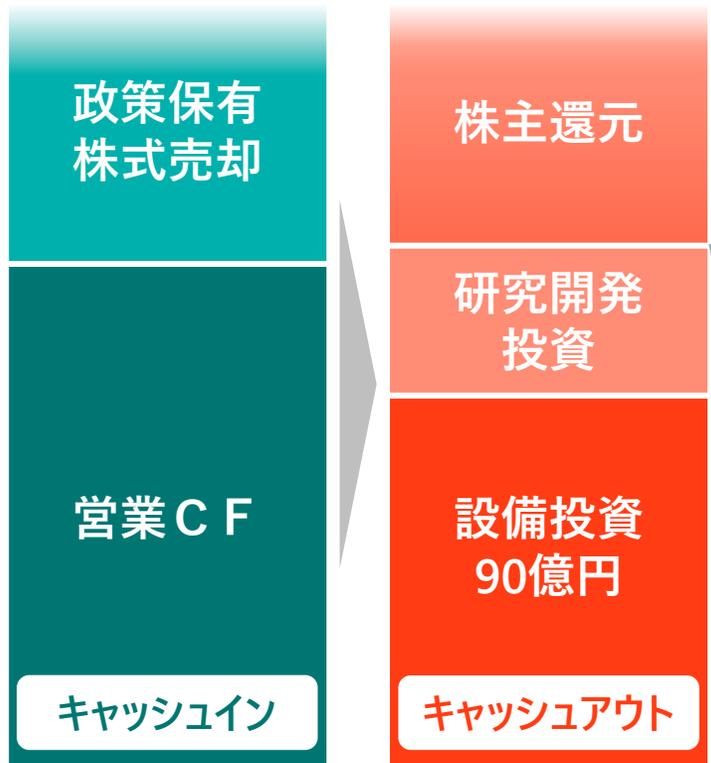
スマートフォンなど電子デバイスの
更なる高性能化・超越

業績連動型の安定配当



(中計「Challenge2024 ローリングプラン2023」より抜粋)

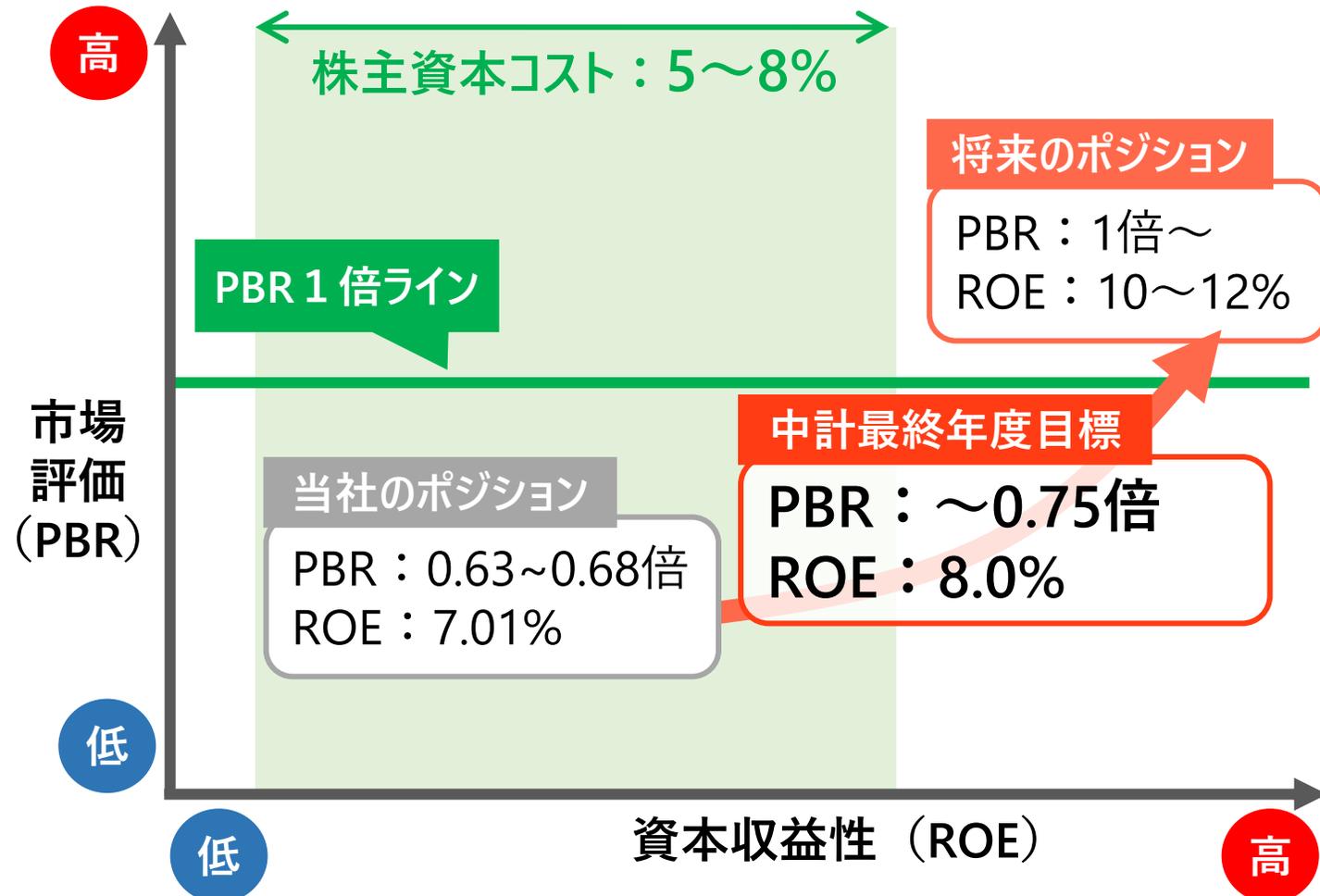
- ◆ 適切に財務レバレッジをコントロールし、自己資本水準を最適化、健全性を維持
- ◆ 営業CF・資産売却 等の原資を、投資と株主還元戦略的に配分し、収益性と成長期待の向上を目指す



✓ 成長投資と資本効率性をふまえ、適切な配当性向レベル・総還元性を設定

中期経営計画「Challenge2024」最終年度に向けて

- ◆ 2024年度は.....中期経営計画「Challenge2024」を骨子に、「ローリングプラン2023」の取り組みを継続
そして、「グロアアッププラン2024」で更なる成長を目指す



中計最終年度の具体策

1. 中期経営計画「Challenge2024」の達成
2. 経営方針 営業利益率 3%~up の達成
3. 財務戦略の推進による
自己資本の最適化・資本収益性の改善
4. 設備投資と研究開発の推進による
成長期待の醸成
5. 適切な株主還元の実行

信 頼 と 限 り な き 挑 戦



無 限 の 可 能 性 を カ タ チ に